

大船渡の魅力を紹介・発信して、ファンを増やしたい



佐々木イザベルさん
(観光ガイド)

ボランティア活動で関わった大船渡の復興が見えたかった

私は、フランス出身で、大学卒業後に来日し、東京都内の会社に勤めていました。

東日本大震災後、オールハズ・ボランティアズの一員として、大船渡の復旧活動に従事し、その後も、定期的にボランティア活動に参加するなかで、今後、大船渡がどのように復興していくのかを見届けたいと思うようになりました。

自分の生き方を見つめ直し、令和元年5月には、大船渡市地域おこし協力隊の隊員として活動するため、移住しました。

た。任務は、大船渡の魅力発信です。

大船渡は、すぐ近くに海があり、海水浴も釣りもできます。冬は、車で2時間も移動すれば、スキーもできます。豊かな自然があり、何でも経験できるところが魅力だと隊員活動のなかで感じました。

SNSの活用・観光ガイドにより、国内外に大船渡の魅力を発信

大船渡の人は、地元の良さを、もっと子どもたちに語ってほしいと思います。子どもは、大人の話を素直に受け止めます。だから、ここは何でもある素敵なところだということ伝えるべきです。

私は、市外にも大船渡のファンを増やしたいと思っています。そのため、ホタテ養殖を営む夫と結婚後、漁業をしながら、大船渡の魅力を発信することを継続しています。SNSで写真等と一緒に大船渡の情報を伝えるとともに、起業をし、観光ガイドとしての活動もしています。国内外の観光客に当地の魅力を伝えていきたいと考えています。



小石浜漁港で、ツアー客に大船渡の魅力をガイドをするイザベルさん

大船渡市



市章
美しい山々と豊かな海に囲まれたまち、大船渡。市章は、大船渡の「大」の字を波と山でデザイン化しました。(昭和27年12月25日告示)



市の花・つばき



市の木・まつ



市の鳥・うみねこ

大船渡市民憲章

わたくしたちの大船渡市は、三陸の美しい自然のなかで、先人のたゆまぬ努力により、恵まれた港を中心に発展してきたまちです。わたくしたちは、このかけがえのないふるさとを受けつぎ、市民としての自覚と誇りをもって、明るく豊かな未来をひらくため、ここに市民憲章を定めます。

- わたくしたちは
- 一 学ぶ心を大切にし、
 - 一 香り高い文化のまちをそだてます。
 - 一 働く喜びをもち、
 - 一 健康で活気あるまちづくりにはげみます。
 - 一 明るい家庭をつくり、
 - 一 希望と安らぎのあるまちをきずきます。
 - 一 社会のきまりを守り、
 - 一 安全で住みよいまちづくりをめざします。
 - 一 恵まれた自然を生かし、
 - 一 海と緑の美しいまちをつくりまします。

(昭和58年6月1日制定)
(平成14年9月4日改正)

- 交通安全都市宣言 (昭和60年9月10日制定)
- 非核平和都市宣言 (昭和60年9月10日制定)
- 福祉都市宣言 (昭和61年9月12日制定)
- 暴力追放都市宣言 (平成元年12月22日制定)

大船渡市民歌

作詞 鈴木 昭司
作曲 林 芳輝

- 一 暁の 遙かより
打ち寄せる波 生命かがやく
ああ 大船渡
三陸の 恵みを謳おう
響きあう 入り江の幸を
一つに紡ぎ 明日を語ろう
- 二 五葉から 岬へと
行きわたる水脈 生命はめぐる
ああ 大船渡
三陸の 自然を謳おう
いにしへの 大地の上に
新しきまち 明日を拓こう
船しげき 港湾より
託される夢 生命ははたく
ああ 大船渡
三陸の 未来を謳おう
歓びに 町並み弾む
力を合わせ 明日を築こう

(平成14年9月25日告示)